



# Department of English Pamphlet 2022

# Let's develop our practical English skills!

## 実践的英語力を伸ばそう!

1年次から4年次まで、英語4技能(聴く・話す・読む・書く)を中心とした体系的な学習ができます。また、女性としてのキャリア開発、地域社会への貢献、さらに諸外国との交流活動などの深い教養を身につけるための科目選択が可能です。



英語学科の最大の教育目標は「実践的英語力の養成」ですが、それは単に外国人と英語で話せることを目指しているわけではありません。英語ネイティブ教員の授業を多く受けて、英語でコミュニケーションを取る自信を付けてもらうと同時に、異文化理解や英語文学、英語学なども学修しながら、英語に対する理解を深めていきます。また、英語学科では地元や他の国内及び国外の方々と、英語を使った様々な活動に取り組む機会を多く設けており、それぞれの活動の目的に応じた英語力を身につけることができます。英語教職課程も選択でき、近隣ではトップクラスの合格実績を毎年残しています。昨今のコロナ禍の中でも、様々な工夫を取り入れて充実した授業を提供しています。どうぞ英語学科に是非ご注目下さい。

## 学生の学びを様々な形でサポート

英語を習得することは授業を受けるだけではできません。英語を実際に使う機会も必要です。英語学科では様々なイベントやアクティビティを開催することで、英語に触れる機会、教室で学んだことを実際に使う機会を1年生から4年生までのすべての学生に提供しています。

### ▶ English Lectures

様々なバックグラウンドのゲストスピーカーによる英語レクチャーを通して幅広い教養や国際的視野を養成しています。

### ▶ English Camp

英語のみの研修合宿。2021年度は1日のイベントとして学内で実施予定です。

### ▶ Country Focus

毎年異なる国をピックアップして、その国について学ぶためのアクティビティやイベントを1週間開催します。

### ▶ Movie Nights

ディスカッションやアクティビティを通してその映画で取り扱われるテーマや映画の中で使用された表現について深く学びます。



### ▶ Christmas Intensive

西洋文化の象徴のひとつであるクリスマスに関する様々な活動を終日英語のみで実施する1年生のためのイベントです。

### ▶ Sotsuron Poster Session

4年生の卒業研究発表会。他学年の学生も参加し、ゼミ選択や卒論テーマについて考えるきっかけにもなっています。

### ▶ Online Learning

オンライン学習システムを利用して英語の力を伸ばします。文法、単語、リーディング、リスニング練習の他、TOEICやTOEFLの対策問題も充実しています。



英語学科1年 辻野 亜理沙さん (福岡県立鞍手高等学校出身)

Student Interview

現在は大学で授業を受ける日と自宅でオンライン授業に参加する日があります。授業のない空き時間には、課題をしたり英語の多読のための本を読んだりしています。入学と同時に英語学科の全員がどこでも英語の学習を進めることができるオンラインのプログラムに登録するのですが、これは簡単に進めることができるのでおすすめです。私は朝の準備が早く終わった時や寝る前などの少しの時間を利用することが多いです！電車とバスを使って通学しているのですが、授業のない時間帯に家の近所でアルバイトをしています。大学で授業がある日の放課後は友達と過ごしするための自由な時間にするようにしています！



	MON	TUE	WED	THU	FRI
I	ボランティア概論	メディア英語I	チームスポーツ	グラマー・コンポジションI	
II	人文学入門	リーディングI	英語コミュニケーションI		
III	情報処理基礎		初年次セミナーI	英検演習I	英語コミュニケーションI
IV		実践英語音声学I ●	ハングル入門	中国語入門	キリスト教学(旧約聖書)
V	English ExtensionI	運動と健康			法学

Spotlight

実践英語音声学I・IIでは、英語の母音・子音、リズムやイントネーションに関わる英語音声の法則全般について学びます。流暢な発音のみならず聞き取りもできるようになることを目指した実践的な授業です。英会話表現や洋楽などを通じて、英語特有のリズムや音声の特徴について楽しく学ぶことができます。



英語学科3年 葉石 明日華さん (北九州市立高等学校出身)

Student Interview

英語学科には年間を通してさまざまなイベントがあり生きた英語に触れることができます。特に楽しみにしていることは週1回のゼミ活動で、自分の興味があるSDGsについて地球規模でどんな取り組みをすればよいか英語で学びを深めています。空き時間には、図書館や英語使用空間ラウンジChatterboxで課題をしたり、所属しているゴールデンZクラブのカンボジア教育支援活動を行ったりしています。これらの活動について昨年度は、オンラインで行われたさまざまな国際会議で発表しました。放課後や休日には、所属している北九州交響楽団の活動や個人練習を行ったりして、充実した大学生活を送っています。



	MON	TUE	WED	THU	FRI
I	職業選択と能力開発	航空ビジネス研究	生徒・進路指導論	教育方法論	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法
II	インターシップ	時事英語入門	英語教科教育法II		共生社会とジェンダー
III	エッセーライティング	児童英語教育入門			
IV	英語プロジェクトI		教育ボランティア演習	専門演習I ●	
V	English ExtensionIII				

Spotlight

3年生になるとゼミに所属し、卒業までそのゼミに所属します。スワンソン・ゼミでは、All Englishで調査・討論・プレゼンテーションを行っています。今年のテーマはSDGsで、北九州においても重要なテーマです。もちろん世界中で注目を集めている活動ですから、各国の取り組みを紹介したり、自分たちも地球市民として何が出来るかについて話し合うこともあります。ゼミは、こうした重要なトピックについて学びながら英語力を伸ばす絶好のチャンスです。



# Grow in class!

授業で伸びる!

## 一人ひとりのレベルに合った少人数教育でしっかりサポート

外国語学習では、自分の能力にあったレベルで授業を受けることが大切です。英語学科では入学時にVELC Test®を受験してもらい、スピーキング・テストの結果を参考に1年次のクラス分けを行っています。英語学科ではコミュニケーションやディスカッション、ライティング等の授業を少人数で実施していますが、このクラス分けによってどの学生も自分に合った指導が受けられるようにしています。

### Teacher Comment 1

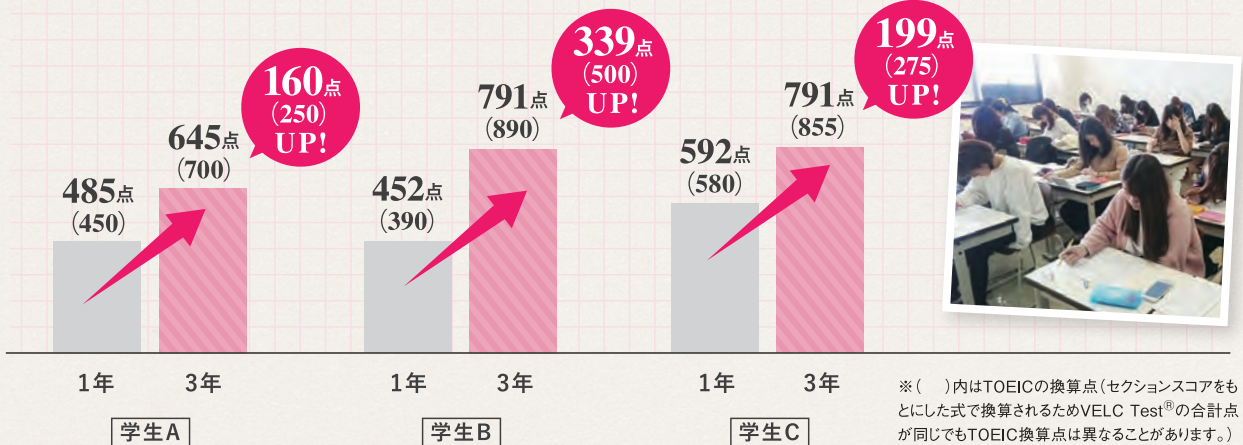
コミュニケーションやディスカッションの授業は、少人数で実施されています。そのため受講学生同士の交流やサポートがしやすくなっています。意見が言いやすい雰囲気の中でスピーキング練習をたくさんすることができます。個別サポートもしっかり行います。

### Teacher Comment 2

ライティング基礎やパラグラフ・ライティングでは、学生が書いた文章を授業中にしっかり確認する態勢を取っています。質問しやすい環境を整え、皆で英語について考える楽しい時間になる工夫をしています。

## 英語力がしっかり身につきます

英語学科では、入学時と3年生修了時にVELC Test®を実施し、入学してからの英語力の伸びを計測しています。実際、学生のスコアが向上しています。



### Student Interview

TOEICのスコアがぐんぐん伸びています!

1年次785点 ▶ 2年次870点



英語学科にはTOEIC演習という講義があり、まずはその講義でビジネス英語をはじめ、基礎的な知識を養いました。予習と復習を欠かさず行うことで授業の理解度は格段に上がり、知識がかなり増えました。また、私が特に意識したのは時間配分です。時間を測って問題を解くことでスピード感に慣れ、本番でも慌てずに解き終えることができました。TOEICは問題数が多いため、時間内に全ての問題に目を通す練習はとても効果的だったと思います。

英語学科3年 帆足 優紀子さん(福岡県立小倉南高等学校出身)



# Let's participate in volunteer activities!

ボランティアに参加しよう!

学内外のボランティア活動を通して、様々な文化や人々とふれあいながら自分を磨きましょう。

## ▶ Golden Z Club

ゴールデンZクラブ

世界の女性をとりまく問題の解決を目指して、国連と協働している団体「国際ゾンタ」の学生組織「ゴールデンZクラブ」が九州で唯一、西南女学院大学に設立されています。



## ▶ Cambodia Project

カンボジア教育支援プロジェクト

カンボジア特産の黒胡椒を使ったクッキーを販売し、その利益で毎年カンボジアの学校に本を送っています。毎年訪問しているカンボジアの学校では、子どもたちとの交流も行っています。



## ▶ Online Activities

オンラインでの活動

コロナ禍で活動が制限される中、オンラインで国内外の様々なカンファレンス等に参加してボランティア活動について発表したり、国内外の人々と交流したりしています。



## Zion Cup English Contest

学内スピーチ・プレゼンコンテストで英語力を発揮しよう!

2020年度の  
大会様子は  
コチラ



Zion Cupは2006年に始まった英語学科の伝統行事です。1年生はスピーチ、2・3年生はプレゼンテーションに挑戦します。後期授業の一部にその準備期間が盛り込まれ、教員の指導を受けながら練習します。12月に授業内予選を行い、1月には本選があります。毎年テーマが設定されますが、最近ではSDGsに焦点を当てています。



### 2020年度 入賞者

私はアマゾンの森林破壊についてスピーチをしました。スピーチ内容を考える前に、しっかりと下調べをすることが良いスピーチの手掛かりになると思います。



英語学科2年 入門 春花さん(福岡県立小倉高等学校出身)

### Student Interviews

私は日本の性被害と性教育の関係や、性についての捉え方についてのプレゼンテーションを行いました。昨年は国内外のオンライン会議で発表する機会もたくさんあり、人前で話すことに慣れてきました。



英語学科3年 道城 友里愛さん(福岡県立小倉西高等学校出身)



# Let's become English teachers!

英語教員になろう!

少人数制で授業を行っているため、現役で教員採用試験に合格しています。

英語教員は、国際化社会でますます需要が高まる仕事です。英語学科では少人数制の授業で、理論から実践までしっかり学ぶことができ、中学校教諭一種免許状(英語)と高等学校教諭一種免許状(英語)を取得することができます。

① 学習支援 近隣の中学校を定期的に訪問し、放課後の生徒たちの学習支援を行っています。



## ② 模擬授業

少人数制の授業なので、全員が模擬授業を経験し、授業のスキルを確実に身につけることができます。



## ③ 先輩からのアドバイス

教職を目指す1年生から4年生までが集まる機会が年に数度あり、教育実習のことや教員採用試験の準備など、気軽に先輩からアドバイスをもらうことができます。



## ④ 卒業生による講演会

卒業生や中学校・高等学校の英語の先生方による講演や近隣の小学校・中学校・高等学校への学習支援を通して、現場ですぐに役立つ力を身につけます。

だから、多くの先輩が教員採用試験に現役合格しています!

2020年度は、現役で2名が北九州市教育委員会、1名が東京都教育委員会の採用試験に合格しました。



# Let's become Japanese teachers!

日本語教員になろう!

日本語教員になるための充実したプログラムがあります。

日本語教員は、外国人に日本語を教える仕事です。英語学科の日本語教員養成課程では、3年間で日本語教員として必要不可欠な、多くの知識と高度な技術を身につけ、修了証を得ることができます。

## TOPIC

日本語教員養成課程は、国内そして海外でのあなたの将来の可能性を大きく広げることができるプログラムです。大学生活で新たなチャレンジをしてみたい方にオススメです。



日本語の授業は、  
たくさんの外国人と自然に  
仲良くなれる場所



外国人相手に  
日本語の授業を  
何度も行う教育実習



日本語の授業を  
イメージしながら行う  
教材作成



# Messages from graduates

## 卒業生からのメッセージ

### 就職先

#### 東京都(中学校英語教諭)

2020年度卒業 代田 有咲さん  
(福岡県・西南女学院高等学校出身)

私が西南女学院大学に入学を決めた理由は、英語科教員になるという夢を叶えたいと思ったからです。しかし実際に入学してみると、夢を叶える以外にも多くの挑戦してみたいことを見つけることができました。その挑戦してみたいことは、ボランティア活動と国際交流でした。このどちらもゴールデンクラブという団体での活動で挑戦することができました。この団体は、女性の地位向上を目的とし、国内外で活動を行っている国際ゾンタの学生団体で、学生という立場ながらも在学中には公立中学校での放課後英語指導やカンボジアでの教育支援、国際会議での活動報告など様々な活動に参加させていただく機会がありました。また、大学の先輩方の国内外での活動で自らの可能性を広げていく姿を見て、自身の視野を大きく広げることができ、何事にも挑戦しようとする気持ちが強くなりました。ゴールデンクラブでの活動以外にも西南女学院大学には、多くの素敵な人で溢れています。その一番の理由が西南女学院大学の先生方にあると思います。学生たちの夢を絶対に否定せず、親身になってくださる先生方ばかりで、実際に私も在学中に先生方の御言葉に幾度となく救われ、ボランティア活動や語学研修等にチャレンジし、最終的には教員採用試験に合格することができました。この西南女学院大学での出会いが、今に繋がっていると思います。

### 就職先

#### 日本生命保険相互会社

2020年度卒業 吉田 あやめさん  
(福岡県立八幡南高等学校出身)

私が本学を志望した理由は、英語学科での単位を履修しながら教員免許を取得することができるからです。私は高校生の時に出会った先生に憧れて、英語教諭を志しました。入学してからは、さまざまな課題に対応するため、1日1日コツコツと勉学に励みました。英語学科の先生方はとてもフレンドリーに接して下さるため、授業中はもちろんのこと研究室や廊下などでお会いした時も親身になって話を聞いてくださったおかげで1人で悩みを抱えこまずに、英語の力を伸ばすことができました。また、イングリッシュキャンプやプレゼンなど学科の友達全員で協力して行う行事もあり、これからの人生の糧となる大切な友人も作ることができました。このように学びを進める中で、私は英語教諭ではなく、企業で働きたいと思うようになり、最終的には希望の仕事に就くことができました。受験生にとって進路選択は人生の大きな選択になると思いますが、自分の夢や目標に向かって自分らしく成長できる大学で多くの事を学んで欲しいと思います。

### 就職先

#### 福岡日産自動車株式会社

2020年度卒業 丘野 智美さん  
(福岡県・自由ヶ丘高等学校出身)

私の就職活動は順調にいったわけではありません。希望の職種も定まっていなかった中で、少しでも気になった企業の説明会にはすべて参加していました。就職課や情報誌などからの情報を頼りにしながら、10社ほど受けましたが、落ちることがほとんどでした。しかし、就職活動を進める中で、だんだんと上手に自分の考えを伝えることができるようになり、最終的には第一志望の企業から内定をいただくことができました。西南女学院大学では、就職活動が始まる前に採用試験のためのセミナーが開催されます。それに3年生の頃から参加して、少しずつ対策をしました。さらに、大学の講義の中ではプレゼンテーションをすることも多く、また日本語教員養成課程も履修していたので、これらの授業での活動を通して、人前で話すことの基礎が養われたと思います。大学での学びは、私の就職活動を支えてくれました。



### 就職先

#### 北九州市(中学校英語教諭)

2020年度卒業 遠矢 みなみさん  
(福岡県・自由ヶ丘高等学校出身)

私は、高校時代に将来の夢がはっきりとはしていませんでした。大学生になりたい気持ちがあり、教職課程もとることができ、留学にも挑戦できる西南女学院大学で4年間過ごそうと考え、入学しました。入学すると、外国人の先生と日本人の先生がいて、先生たちの会話が英語や日本語が飛び交い、それだけでもワクワクしました。大学生を送る中で、やはり留学したいという気持ちが生まれ、大学2年生の時に留学することを決めました。ニュージーランドで半年間過ごしたのですが、初めてのホームステイや大自然の中でのアクティビティ、マリンスポーツ、ボランティア活動等にも参加して様々な経験をすることができました。留学中にも大学の先生と連絡をとりながら、何かあればすぐに対応してもらいました。大変心強く、充実した留学生活を送ることができました。授業では教職課程の授業は他学科とも合同の授業があり、友達も増えました。そんな授業を受けていると将来の職業も教師という選択肢を増やすことができました。実際に就職活動を始める際に、先生と話す中で教師への憧れが強くなり、教員採用試験を受けることを決めました。試験内容の練習やエントリーシートの添削まで細かなところまでサポートして下さったおかげで、今は中学校の教員として働いています。大学生活で経験した留学や、教員になるまでに大学の先生方からいただいたことなどは、今の自分の糧となり、自分が学んできたことを発揮できる環境で働くことができます。西南女学院大学では、自分のやりたいことを全力で応援してくれる環境があるからこそ、頑張れると思います。この大学で4年間過ごすことができ、本当に良かったと思います。

## 2020年度卒業生の進路

北九州市(市立中学校)、東京都(区立中学校)、セイハネットワーク株式会社、トヨタカローラ大分株式会社、山口県農業協同組合、福岡日産自動車株式会社、株式会社昴 紫原校、株式会社北九州銀行、住友生命保険相互会社、日本生命保険相互会社、福岡市(市立中学校)、学校法人東筑紫学園 東筑紫学園高等学校、特定非営利活動法人CIC英語幼稚園、学校法人大和学園 大和青藍高等学校、大学院進学(北九州市立大学大学院 社会システム研究科 文化・言語専攻 比較文化領域) ほか

# Let's study abroad!

英語学科では、さまざまな形態の留学を提供しています。

## 科目の一部として行う海外研修

「欧米文化交流研修A・B」および「アジア文化交流研修A・B」  
(それぞれ、2単位の選択授業)

12回の座学授業を受けた後、夏期休業中に3週間の海外研修に出かけます。「欧米文化交流研修」は英国やカナダ、オーストラリア、ニュージーランド、「アジア文化交流研修」は中国の大連や上海などが実習先となっています。海外の大学で語学や文化を学び、異文化交流体験をすることができます。教員が引率するので安心してご参加頂けます。※2021年度の研修は国内で実施予定。



## 春休みの短期留学

春休みの3週間を使って、ニュージーランドのティマルで短期留学が実施されます。ホームステイをしながら、英語の授業を受けたり、様々な文化体験に参加したりすることができます。ティマルはとても安全な街で、本学教員が引率しますので、安心です。初めての海外体験に向けています。※2021年度の実施は検討中です。

## 姉妹校・協定校・認定校での海外留学

2年生後期から、英国、ニュージーランド、カナダなどに半年間または1年間留学するプログラムがあります。条件をクリアできれば、4年間で卒業可能です。※2021年度の実施は検討中です。



## オンラインでの国際交流

目下、コロナ禍のために留学が制限されています。しかし英語学科では、オンライン活動を通じて様々な活動に取り組んでいます。2020年度には多くのオンライン国際会議で発表したり、海外の学生達と交流したりしました。

## Student Message 海外留学経験者メッセージ



英語学科4年  
岩崎 江里子さん  
(福岡県立戸畑高等学校出身)



私は、ニュージーランドのクライストチャーチ工科大学に半年間留学しました。ニュージーランドは自然豊かで地域のイベントも充実しています。また、他国からの移住者が多いため、様々な国の人と関わることができます。私自身、大学で開催されるイベントに参加したり、失敗を恐れず積極的に話しかけたりしました。その結果、休日に出かけたり、パーティーに誘ってもらったりと毎日がとても充実した日々となりました。留学をきっかけにさらに海外のことに興味を持つと共に、自分の考えや思いを発信していきたいと思うようになりました。留学後はコロナ禍ではありましたが、先生方のサポートもあり、オンラインで海外の人たちと様々なプロジェクトを実施することができました。例えば、コロナ禍での大学生の状況を調査して発表したり、SDGsに関わる国際会議で司会を務めたりしました。

現在、コロナ禍のために社会状況が著しく変わり、大学生活も思うようにならないことがたくさんあるかと思いますが、しかし、このような状況下だからこそ、自分自身を成長させる機会として捉え、是非みなさんも何かにチャレンジしてみたいはいかがでしょうか。

